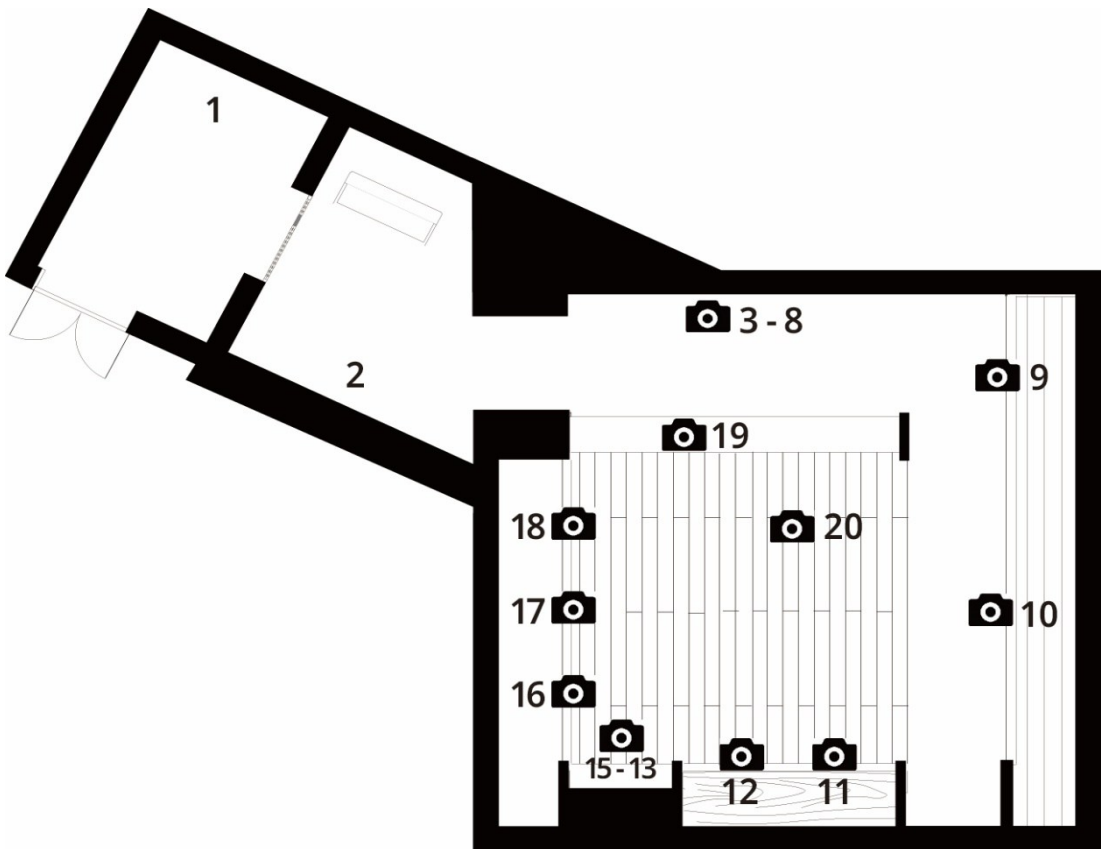


# この、原美術館 ARCという時間芸術

会期：2025年3月15日 [土]－5月11日 [日]、5月16日 [土]－7月6日 [日]

主催・会場：原美術館ARC      協賛：エルメスジャパン株式会社



 マークの作品は写真撮影が可能です。

展示室内では飲食および、作品に触れることはできません。小さいお子様は大人の方と手をつないでご鑑賞下さい。

| 特別展示室 観海庵                                                                               |                  |                                |                     |                                            |                  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|------------------|--------------------------------|---------------------|--------------------------------------------|------------------|
|                                                                                         | 作家名              | 作品名                            | 制作年                 | 素材・技法                                      | サイズ              |
| 1                                                                                       | 崔在銀              | もう一つの月                         | 2010                | ビデオインスタレーション                               | 可変               |
| 2                                                                                       | 宮脇愛子             | うつろひ                           | 2004                | 和紙に墨                                       | 47 x 100 cm      |
| 3-8  | 蜷川実花             | PLANT A TREE                   | 2011                | Cプリント                                      | 各 48.5 x 72.8 cm |
| 9    |                  | ヨシノヤマスズリバコ・リョウシバコ<br>芳野山硯箱・料紙箱 | 不詳                  | 平目地蒔絵                                      | 一具（二合）           |
| 10   | 作者不詳             | ゴショグルマハナグルマズビョウブ<br>御所車花車図屏風   | 不詳                  | 紙本金地著色                                     | 六曲一双             |
| 11   | ジャソク<br>伝 蛇足     | レイショウジョズ<br>霊昭女図               | 室町時代（16世紀後期）        | 紙本著色                                       | 一幅               |
| 12   | ナガサワロセツ<br>長沢芦雪  | ソトバコマチ<br>卒都婆小町                | 江戸時代（18世紀）          | 紙本著色                                       | 一幅               |
| 13   | 草間彌生             | ドッツ・オブセッション、水玉で幸福いっぱい          | 2011                | 携帯電話（Art Editions YAYOI KUSAMA, KDDI iida） |                  |
| 14   | 草間彌生             | 私の犬のリンリン                       | 2011                | 携帯電話（Art Editions YAYOI KUSAMA, KDDI iida） |                  |
| 15   | 草間彌生             | 宇宙へ行くときのハンドバッグ                 | 2011                | 携帯電話（Art Editions YAYOI KUSAMA, KDDI iida） |                  |
| 16   | マルヤマオウキョ<br>円山応挙 | ワカマツツルズ<br>若松鶴図                | 江戸時代（18世紀）          | 絹本著色                                       | 一幅               |
| 17   | 円山応挙             | ユキマツエンオウズ<br>雪松鴛鴦図             | 江戸時代 寛政五年（1793年）    | 絹本著色                                       | 一幅               |
| 18   | キノシタオウジュ<br>木下応受 | カンジョズ<br>官女図                   | 江戸時代（18世紀後半～19世紀前半） | 絹本著色                                       | 一幅               |
| 19   | 作者不詳             | セキガハラゴジンス<br>関ヶ原御陣図（上）         | 不詳                  | 紙本著色                                       | 一巻               |
| 20   | 戸谷成雄             | 地霊                             | 1991                | 鉄、木、灰、アクリル絵具、ガラス                           | 32 x 119 x 61 cm |

\* 番号の記載はございませんが、須田悦弘の小さな作品を展示しています。

## ■作品解説

3-8.

蜷川実花「PLANT A TREE」

Cプリント 2011年

「蜷川カラー」と呼ばれるその色とともにアイドルやモデル、花々の輝きを捉えた写真がポジティブで開放的と評される一方で、華やかさや幸福感と隣り合わせにある歪みや澁み、衰退の影や死の気配をも捉え続けてきた蜷川実花（1972-）。本作は、2010年の春、目黒川の桜が川面に散る様を取り憑かれたように3時間撮影し続けた写真であるという。当時、プライベートな理由で傷心していた蜷川が、桜の散りゆく物悲しさとともに移ろう風景の一瞬の輝きを焼き付けた作品である。

2015年、原美術館にて「蜷川実花：Self-image」展、2017年には「蜷川実花 うつくしい日々」展を開催。

11.

伝 蛇足「靈昭女図」

紙本著色 一幅 室町時代（16世紀後期）

靈昭女は、中国・唐時代の龐居士（ほうこじ、?-808）の娘。父と同じく、在家にありながら禅に深く帰依し、竹籠を売って両親に孝養を尽したと伝えられる。中国では宋時代より好まれた画題で、日本においては室町時代以降に禅宗絵画に描かれた。

本図は、角張った額の生え際と反り返る耳の形に特徴をもつ「靈昭女図」のグループに分類され、堺の茶人たちに愛好されたこと、京都・大徳寺と関わりの深い文化人ネットワークのなかで制作・鑑賞されたことが確認されている。「靈昭女図」の視覚的イメージには、近世初期の一人立美人図へ連なる側面も指摘されるが、淡彩で精細に表現される本図の切れ長の澄んだ目は、悟りを得た女性の内面性を写すかのようである。

画面右上に「蛇足」の印が捺される。蛇足は、大徳寺にゆかりの曾我派の画家とされるが、その伝記は詳らかでない。

12.

長沢芦雪「卒都婆小町」

紙本著色 一幅 江戸時代（18世紀）

小野小町の晩年を題材とした能の演目「卒都婆小町」を描いた作品。

画賛：「世の中の人のこころの花よりも をのかすかたのうつろふをみよ」

〈参考現代訳〉世の中の人の心の花（恋心）が移ろってしまったと嘆くのではなく、自分の姿が変わっていることに気付きなさい。

18.

木下応受「官女図」

絹本著色 一幅 江戸時代（18世紀後半～19世紀前半）

画賛：

「百敷の大宮つかえいと満あらはかささん登思ふ花やち流ら舞」 香川景樹（かがわかげき、江戸時代後期の歌人）

〈参考現代訳〉皇宮に仕える身、時間があれば桜の花で髪を飾ってみようと思うけれど忙しくてそうできない。

花はもう散っているかもしれないな。